

# 宗教の目的

信行寺住職・浅野弘毅



神社やお寺で手をあわせるとき、「家内安全」や「病氣平癒」「商売繁盛」などを願う方は多いと思います。でも、考えてみてください。そもそも、宗教の目的とは何でしょうか？

今より三千年ほど昔、世界で一番豊かな文明をもったインドで、お釈迦さまはシャカ族の王子として生まれました。美しい王宮で大切に育てられ、城の外にはじめて出たのは二十九歳のとき。そこで、病氣や老いに苦しみ、やがて死んでゆく人のさまを目にします。それまで何、不自由なく生きてきたお釈迦さまにとって、誰も避けることのできない人生の現実が、大変なショックでした。

出家し、苦行を続けても、老いや死に対する不安は、ぬぐえませんが。そこでお釈迦さまは肉体の修行をやめ、菩提樹の下で瞑想に入ります。そして七日目。すっと目を開け、こう言ったのでした。「すべて分かった。もう不安はない」と。

お釈迦さまは、何のために悟りを開かれたのか？ それは、不安を解消し、やすらかな心、すなわち「安心」を手に入れるためです。宗教の目的は、安心して命をまっとうすること、「安心立命」にほかならないのです。

## 法話会への

## お誘い

信行寺住職・浅野弘毅 常例法話会

毎月最終日曜日午後四時より 無料

参加希望者には事前のご案内をお送りします。

信行寺法務部までお申し込みください。

044(976)0115